

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年10月16日

施設名	高知県立埋蔵文化財センター	所管課室	教育委員会文化財課
-----	---------------	------	-----------

### 1 施設の概要

指定管理者	高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～ 平成21年3月31日
施設所在地	南国市篠原南泉1437-1		
事業内容	1) 施設管理 高知県立埋蔵文化財センターの施設管理 2) 出土文化財等資料管理 出土文化財、図書等の資料管理 3) 広報普及事業 ア 出前考古学教室 イ 公開考古学講座 ウ 展示公開事業（常設展示、企画展、速報展） エ 情報公開事業 オ 研修事業 カ 講師派遣・市町村発掘調査指導等		
施設内容	敷地面積 4,687.58㎡ 施設 本館・北館・南館・収蔵庫（建築面積2,083.18㎡） 開館時間 8:30～17:30 休館日 土・日・祝祭日・年末・年始		
職員体制	指定管理者職員6名		

### 2 収支の状況

（単位：円）

		18年度（決算）	19年度（決算）	20年度（予算）
収 入	県支出金	68,600,405	60,397,193	67,699,000
	使用料・手数料	0	0	0
	その他	0	0	0
	収入計（a）	68,600,405	60,397,193	67,699,000
支 出	管理運営・事業費	30,257,275	28,307,265	28,148,000
	人件費	38,343,130	32,089,928	39,551,000
	その他	0	0	0
	支出計（b）	68,600,405	60,397,193	67,699,000

### 3 利用状況

	18年度（実績）	19年度（目標）	19年度（実績）
①年間利用者数（単位：人）	1, 318	1, 700	2, 182
②利用者意見等の反映	<p>埋蔵文化財センターの入館者は、展示見学者及び公開講座の参加者、発掘調査業務等の見学者、出土遺物等調査のための来館者であり、19年度の入館者は前年度比約40%の増加となった。</p> <p>学校や各種団体からの体験学習や見学会の開催についての意見が多く、古代ものづくり体験教室、親子考古学教室、先生のための考古学教室、考古学講座、発掘調査報告会、展示報告会などを実施し希望者はすべて受け入れており、展示や整理作業の見学等も加えも行っており好評を得ている。</p>		
③その他特記事項	<p>出前考古学教室は、前期と後期に分けて行った。前期は、実施校46校を決定し、合同開催も含めて30回の出前考古学を5月から7月にかけて行った。後期は実施校22校を決定し10月から2月までおこなった。前後期全体の参加人数は、2,467人で多くの子どもたちにふれあうことができた。</p>		

### 4 平成19年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	建物については、清掃・警備等再委託の承認をしており、適切な管理がなされている。設備・機器についても日常業務の中で管理点検を行っており、故障等についても、協定にそって迅速に対応している。危機管理体制も災害対策処理要綱や消防計画により緊急配備体制等を確立し対応している。
②利用者サービスの維持向上	事務室受付に調査員を配置し、随時展示解説を行うなど利用者に対するきめ細かいサービスを実施した。また、企画展「発掘へんろ」の開催期間中は土・日曜日開館を行い利用者の利便を図っている。
③利用実績	4～7月にかけて常設展、8～9月には企画展として四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」、第二企画展として10～11月にかけて「道路開発で現れた遺跡展」、1～3月には特別展として「木製品」をテーマに展示を行った。
④収支の状況	当初予算からすると、異動に伴う人件費の増で契約変更を行った。精算では、経費支出額が831,807円の減となった。その内訳は、人件費の時間外と事業費の需用費に残が出ており、残額については戻入してもらった。

<p>総合評価</p>	<p>評価委員の総合的意見では、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重な埋蔵文化財を適切な方法で保護し後世に伝えるという、地味だが大きな仕事を良くやっている。収益を伴う事業ではないが、経費を削減するという社会の流れの中で、今以上に知恵を考え出して事業をやってもらいたい。</li> <li>・ 全体として仕様書を上回る優れた運営が行われていると高く評価する。特に、啓発事業の量と質は素晴らしいものがある。経費を削減する中でこの内容を維持している努力は高く評価したい。資料の地震に対する対策には課題をやや残すものの、それはセンターだけの責任ではなく今後は費用の問題も含めて県と相談して改善が求められよう。その他施設管理、企画運営は誠に適切であった。</li> <li>・ 基本的に合理的で効果的な施設運営ができている。但し、欲を言えば知名度がもう少し高くなるような工夫ができないか。</li> <li>・ 職員が組織として目標達成に努力されている。県民に向かって大変よく努力し、仕事に前向きに取り組んでいる。企画展の展示方法や広報など指定管理者の努力で、入館者も目標を上回っている。広報普及事業も出前考古学教室や体験学習、公開講座など工夫され参加者にも好評であった。資料も遺物収蔵データベースを基に適切な管理が行われ、HPも随時更新されている。</li> </ul>
-------------	---

**A**

- 【評価の目安】
- A : 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B : おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C : 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D : 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの